

2013年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 委員会活動方針・事業計画

- 委員会名：まちづくり委員会
- 担当副理事長名：川島 吉弘
- 委員長名：宮川 史生
- 副委員長名：樋渡 悠浩
- 委員名：大西 広朗、荻野 洋基、長南 光紀、長谷川 貴哉、牧田 芳明、松尾 崇
- 作成者名：宮川 史生

1. 委員会活動方針

鎌倉青年会議所の発足以来、約半世紀に及ぶ歴史のなかで鎌倉のまちを取り巻く環境は様々に変化を続け、当会議所も多くの先輩方によりその時代に合わせたまちづくり運動が展開されてきました。その結果、市民が愛着を持てる鎌倉のまちが創られてまいりましたが、我々も引き続きその活動をさらに継続・発展させていくことが必要であると考えます。

本年度、まちづくり委員会では、年間のテーマを「かまぐららの未来を育てる」と掲げて活動してまいります。まず、本年45回目を迎える慈善茶会の開催を前に慈善の意味を学ぶ研修会を開催し、慈善茶会創始の精神である社会への奉仕や、市内各種団体との協働を通じた地域教育の在り方が鎌倉のまちに及ぼしたこれまでの影響やその成果を学びます。そして、慈善茶会の開催によって鎌倉を愛する地域の方々との協働を図り、会員個々の修練の場とすると共に、鎌倉の未来を担う学生たちの成長の場とします。参加者の皆様には地域特性を活かしたおもてなしで鎌倉の魅力をあらためて感じていただき、より一層「かまぐららへの愛着」を深めていただきます。また、市民の立場からより良い鎌倉のまちを創るという視点に立ち鎌倉市長選挙の立候補者によるマニフェスト型公開討論会を開催いたします。当会議所が市民と地方自治をつなぐことで、より多くの市民が立候補者の政策提言を知り、鎌倉の市政に一層の興味と市政に参加するという市民参画意識を向上させる機会といたします。そして、広く市民からの参加者を募り、子どもたちが鎌倉のまちに残る多くの歴史的文化と豊かな自然の価値や大切さを体感する事業を開催いたします。

当委員会では、これらの事業により協働団体の皆様をはじめ市民がこれまで以上に鎌倉のまちに魅力を感じていただくと共に市政への興味を深めていただき、まちへの愛着がさらに強くなることで鎌倉のまちの未来を育むことに繋がると考えます。また、会員においては青年会議所でまちづくり運動をしていることに誇りを持ち、本年度テーマである「精神一到」の意味を会員個々が実感できるように一年間活動してまいります。

2. 委員会事業計画

(I) 慈善の意味を学ぶ事業の開催

- (a) 内容：講演会および意見交換会の開催
- (b) 時期：2013年 2月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度及び入会希望者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) おもてなしの心を持って鎌倉への愛着を深める事業の開催

- (a) 内 容：慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2013年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、OB、来訪JC、市民、学生
協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) 関係諸団体との信頼関係を深める事業の開催

- (a) 内 容：第45回慈善茶会後に懇親会を開催
- (b) 時 期：2013年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、OB、学生、協働団体関係者、
茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅳ) 市民参画意識を向上させる事業の開催

- (a) 内 容：鎌倉市市長選挙公開討論会の開催
- (b) 時 期：2013年10月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅴ) 歴史的文化と豊かな自然の価値や大切さを体感する事業の開催

- (a) 内 容：市民参加の体験型事業の開催
- (b) 時 期：2013年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度及び入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加